

大学と全学生のミーティングへの呼びかけ

2008年4月28日

教育・学生担当副学長
坂内徳明

周知のごとく、平成16年4月より全国の国立大学は法人化され、国立大学法人となりました。法人化後、「学生支援体制の充実」という課題がきわめて大きなものとなったことは全旧国立大学が共に認識していることです。国立大学時代の学生支援のあり方から大きく踏み出し、大学は自らの責務をはたすべく明確に意識された学生支援に取り組まなければなりません。

今回、本学はこれまでの学生支援活動（学生相談室・キャリア支援室再編などによる学生相談体制の充実、「学生支援に関する教職・学生へのアンケートとその調査分析報告書」、「学生生活実態調査」、意見箱、学長メール、学生モニター会議）に加えて、大学と学生との新たな定例ミーティングを開催したいと考えます。全学生が自由に参加することができる場で、より多くの要望や意見をくみあげ、また、大学の考えを紹介する、そのような場を通して今後の本学の学生支援のあり方を共に考え、より公正かつ効果的な学生支援に結び付けていくのがこのミーティングの目的です。この会合は原則的に全学生に開かれたもので、第一回は以下日時と場所で行います。

多くの学生が参加し、個人や団体からの声が活発に出ることを期待します。

2008年5月14日 16時20分より

場所： 西本館22番教室